

税関のミライビト

Customs Future

水際最前線で働く

私は成田税関支署旅具通関部門に所属し、成田空港にて、主に入国旅客・乗組員の携帯品検査と、それに伴う徴税業務を行っています。旅具通関部門は、社会悪物品の流入を日本の水際で取り締まること、迅速かつ公正な関税等の賦課徴収することといった、日本の水際最前線として日本の安全維持にかかわる重要な部門だと思っています。新型コロナウイルスの影響で、国家間の人の移動が制限されていますが、最近では入国旅客も増加してきており、様々な

目的で入国される旅客に対して、適正な検査や素早い業務対応が求められています。複雑な業務も多いですが、日々自ら学ぶと同時に先輩や上司の方々に助けをもらいながら、成長を実感できる職場です。



令和3年度採用一般職大卒（行政）
成田税関支署 旅具通関部門

不審物は
ないかな・・・

～税関を志望した理由～

学生時代から英語を使った仕事をしたいと思っていたところ、税関の業務説明会に参加し、税関の仕事を知りました。税関は業務が多岐にわたっていて、海外勤務のチャンスがあるこの仕事は自分に向いているのではないかと思います。英語を使って仕事をするという自分の理想を実現させるとともに、日本税関の職員として、世界の国々と日本の架け橋のような存在となり、日本の貿易の円滑化・活性化に貢献したいと思い志望しました。また、日本の安全を水際で取り締まるという大きな責任をもって働くことができるという点にも、ほかの省庁にはない魅力を感じました。

Q、今の職場の雰囲気はhowですか？

A、配属された当初、右も左もわからない自分に班の上司や先輩方が様々なことを教えてくれました。また当直をこなす班同士の仲が良く、プライベートでも若手職員同士で出かけたりすることもあります。

Q、今後の目標は何ですか？

A、2年目になり、今まで担当していた業務以外のことも任されるようになったので、その業務を習熟することが今の一番の目標です。

◇ 職員の1日 ◇

- 13:00 勤務開始。前日の当直班からの引継ぎやミーティングを行う
- 14:00 検査機器を活用しながら入国旅客の携帯品検査を行う
- 18:00 食事休憩
- 0:45 仮眠時間
- 5:30 起床し、その後、旅客の携帯品検査を行う
- 11:00 次の当直班に引継ぎを行い、業務終了

